

あこう



市議会だより

第148号



平成30年8月10日発行

2 P

- ・定例会のあらまし
- ・一般質問

3～4 P

- ・一般質問

5 P

- ・一般質問
- ・議案の議決結果・議員別賛否一覧

6 P

- ・常任委員会等審査から

7 P

- ・常任委員会行政視察報告

8 P

- ・議会活動状況
- ・議員表彰
- ・9月定例会・常任委員会の日程（案）
- ・編集後記



市政の課題 将来の展望を



ただ 質す

6月25日（7名）、26日（2名）の計9名が登壇し、市政の課題や将来展望に対する考え方について一般質問を行いました。

市民病院事業の 経営健全化について

釣 昭彦 議員



問 市民病院のリニューアルオープンを迎えPET装置、健診センターが新設され、増築整備に合わせ、医師8名を増員する計画をしているがどうか。PETの受診者数を1日3人と想定されたが受診者数はどうか。健診センターの予定者数は確保出来ているか。平成30年度には経常損益の黒字化を目指しているが、達成できるか。

その他の質問事項

- 赤穂市総合計画の観光振興について

小中学校のエアコンと ストーブの整備等について

前川 弘文 議員



問 文部科学省は、本年4月に教室の望ましい温度の基準を「10℃以上、30℃以下」から「17℃以上、28℃以下」に見直した。児童生徒の体調管理と快適な学習環境整備のため、教室等に不快指数計付温湿度計の設置、エアコンの整備計画の策定、ストーブ未設置教室は今年の冬までに設置していただきたい。見解を伺う。

その他の質問事項

- シニアカー（ハンドル形電動車いす）の対応について
- プライバシーの確保に配慮した相談業務について

定例会のあらまし

平成30年6月（第2回）定例会を、6月8日から26日までの19日間にわたり開催しました。

この定例会において、報告案件、一般会計補正予算、条例改正、事件決議等の議案が提案され、全ての議案について全会一致で承認、同意、可決しました。

また、請願と意見書それぞれ1件、決議1件の審議を行い、請願、意見書については、全会一致で採択、決議については、賛成多数で採決となりました。

答 平成30年4月1日現在の常勤医師数は66名で、第二期基本構想計画時の常勤医師数より1名減となっている。PET受診者数は昨年8月の稼働から3月末までで延べ237件、1日平均1.5人、健診センター受診者数は、平成29年度6,965件で平成28年度に比べ888件の増である。平成30年度においては、常勤医師不在の診療科等医師確保が充足されていない状況下であり、経常損益の黒字化を達成することは非常に厳しい状況である。



1階 PET-CT 装置



3階 透視センター



2階 外来（第5受付）



4階 健診センター

答 不快指数計付温湿度計は、6月中に全小中学校各フロアの普通教室1室に整備を行い、7月から測定を開始する。エアコンについては、導入事例を参考にしながら、より適切な導入形態や費用及び設置時期など、小中学校の長寿命化計画である個別施設計画の策定と合わせて検討したい。また、ストーブについても、未設置の普通教室に、今年の冬に間に合うよう設置を進めていく。





市民病院の経営改善に対する 取組みについて

田 渕 和 彦 議員



問 経営改善には、医師の確保と利用者離れを防ぐことが必要である。内部努力（接遇研修）で解決できる問題には、しっかり対応して頂きたい。病院を利用される方が安心できるような、付加価値を全ての職種・職域で考えてほしい。経営改善には利用者の心理を理解して頂きたい。見解を伺う。

その他の質問事項

- 管理型産業廃棄物最終処分場（西有年）について
- 老人クラブの介護予防に対する役割と加入者減少対策について

答 職員の接遇については、各職場においても幹部職員が模範を示すとともに、患者様に気持ち良く入院生活や外来診察を受けていただくため、さらなる接遇の向上に取り組んでいく。また、お声がけだけでなく職員の付加価値を付けた行動が、病院全体のイメージアップにつながることから、患者様に実感していただけるように職員の接遇をより改善強化し、病院利用者の増加につなげ、経営改善に努める。



赤穂インターチェンジを活用した 戦略的なまちづくりについて

前 田 尚 志 議員



問 昭和57年3月に供用開始され、市の玄関口として交通の要衝となっている山陽自動車道赤穂インターチェンジを、市はどのような位置づけにされているのか。赤穂インターチェンジを活用したまちづくりを推進していくため、関係部課が連携して検討及び調整を行う組織を市に設置される考えはあるのか。

その他の質問事項

- 難視聴地域の小規模なテレビ共同受信組合への運営補助制度の創設について

答 山陽自動車道は、総合計画において広域交流軸や産業交流軸に位置づけており、赤穂インターチェンジはヒト・モノを呼び込み地域の活性化に役立つ重要な拠点と考えている。また、赤穂インターチェンジ周辺は、都市計画マスタープランで農業区域に位置づけられていることから、郊外へ都市機能を拡大することは極めてハードルが高く、地域の今後の展望、市民のニーズによって検討していく。



市長は、福浦産廃の 計画取り下げを求めよ

川 本 孝 明 議員



問 遮水シートの耐用年数について遮水工協会は「15年を目安として各項目の評価基準を設定した」とある。福浦産廃事業者の「70年耐用」撤回発言は、無責任極まりない。この程度のことも理解できていない業者に、処分場を立ち上げる資格はないと言わざるを得ない。市長は、計画の取り下げを求めよべきだ。

その他の質問事項

- ゴミ処理広域化（赤穂市・相生市）基礎調査について

答 事業者による説明会については、新聞報道等で確認している。遮水シートの耐用年数を70年以上とした発言を撤回したことは、事業者がそういった判断をしたということである。取り下げたことに対する説明は、再度事業者が行うべきものと考えている。遮水シートの耐用年数の技術論については議論する予定はないが、今後、県から意見照会が来た際には、市としての意見を述べたい。





坂越保育所の今後の考え方

竹内友江 議員



問 市内には、保育所が赤穂、尾崎、御崎、塩屋、有年そして坂越の6か所あります。坂越保育所が最も古く設置され、46年経ちます。将来を担う子どもたちが、環境の良い場所、安心な建物で保育、教育を受ける為に、当局は坂越保育所の建て替え、或いは移転等をどのように考えているのですか。

その他の質問事項

- 小学校卒業式における児童の服装について

答 坂越保育所は昭和47年に建築されており、塩屋保育所を除くその他の保育所についても、昭和50年代初めに建築され、それぞれ計画的に対応する必要があると認識している。坂越保育所は最も古い保育所であることから、整備についての優先順位は高いと認識している。具体的な整備計画は定まっていないが、今後地元の意見を踏まえた上で、財政的なことも考慮しつつ整備を行っていく。



生きがいづくりと医療費抑制のための健康ポイント制度の導入を

木下 守 議員



問 健康で自立した生活は本人や家族の幸せだけでなく、社会貢献につながり、生きがいづくりともなります。そこで、医療費の抑制に効果が期待でき、予防重視型の社会づくりにつなげていくため、健康づくりに関心の低い方へのインセンティブ（動機づけ）となる健康ポイント制度を導入してはどうか。

その他の質問事項

- 市民への防災意識啓発の推進について
- ごみゼロ運動の推進について

答 健康で暮らし続けるには、自ら健康づくりに取り組むことが重要であることから、市において、市民一人ひとりが健康づくりに取り組めるよう、健康教室や健診の受診勧奨などを行っている。健康ポイント制度は、市民が行う健康づくりに対し、インセンティブ提供を行い、健康づくりへの動機づけとなるものであるが、この制度を導入している他自治体において、健康に対して無関心な方の参加が少ないという課題もあることから今後、課題も含めた上で検討したい。



小中学生登下校時の荷物による健康影響とその対策について

山田昌弘 議員



問 小中学生が登下校時に持つ荷物（教科書等）の重さは、自分の体重の10%以下が望ましいと、言われる。現状、ランドセル、リュックサックなどで、持っていく荷物の重さは、これを、はるかに上回っていると考える。毎日のことであり、健康に影響がでるのではと、心配する。何らかの対応策を検討すべきではないのか。

その他の質問事項

- 有年駅北広場供用開始後の住民への影響と、駅利用促進に向けた今後の展開について
- 西有年・梨ヶ原管理型産業廃棄物最終処分場建設計画について

答 児童生徒登下校時の通学鞆が重いことについては、これまでも小中学校においてその対応を図っており、小学校では毎日の家庭学習で特に必要としない書写などの教科書、資料集や副教材、絵の具セットなどは学校で保管しており、中学校ではこれに加え鞆をリュック式に変更するなど対策を講じている。児童生徒の健康と安全の確保は最重要の課題としており、今後も引き続き成長段階と体力を考慮した対応を行う。





福浦産廃計画地は指針に照らし「不適合」の判断をすべき

小林 篤二 議員



問 福浦産廃計画地は、地質断層の広がり、崩落しやすいホルンフェルス化した地盤を事業者は否定する。国の研究機関や県の公図に示されているが市は確認しているか。バイオマットはシートの耐候性に影響する。本市も加入する全国都市清掃会議立地条件の指針に照らし処分場として「不適合」と判断すべきである。

その他の質問事項

- 御崎太陽光発電設備設置造成地の完全な治水及び風致保全対策を求める
- 有害鳥獣による農作物・人的被害対策を求める

答 福浦産廃計画の事業計画書には、事業者の調査結果に基づく地質等に関する見解が示されている。一方で全国都市清掃会議の指針に照らすと、計画地の適正は、不適合との見解が示された報告があることは承知している。最終処分場の適正については、県において議論されるものであり、現時点で市が当該計画地の適正を判断することは非常に困難であるが、県からの意見照会に対して市としての意見をしっかりと述べたい。



採石場内 湧水付近に生殖したバイオマット
(国土問題研究会調査報告書より)

6月(第2回)定例会提出議案に対する議員別賛否一覧表

賛成：○ 反対：×

議案番号	件名	議決結果	汐江	柳悠太	田淵和彦	小林篤二	木下守	山野崇	西川浩司	奥藤隆裕	山田昌弘	前田尚志	土遠孝昌	有田孝一	川本孝弘	前川時治	家入友江	竹内昭彦	釣昭彦	瓢敏雄
報第8号 専第6号 専第7号	専決処分の報告について 平成29年度赤穂市一般会計補正予算 平成29年度赤穂市職員退職手当管理特別会計補正予算	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第77号議案	平成30年度赤穂市一般会計補正予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第78号議案	赤穂市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第79号議案	赤穂市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第80号議案	法令の規定により条例に委任された基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第81号議案	赤穂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第82号議案	坂越小学校大規模改造工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第83号議案	市民総合体育館非構造部材耐震対策補強工事請負契約の締結に係る議決変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第84号議案	赤穂小学校大規模改造工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願審議結果																				
第2号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の要請について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書審議結果																				
第1号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書の提出について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議案																				
第1号	2025年国際博覧会の誘致に関する決議案の提出について	採択	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

議長のため、表決には加わりません。

6月(第2回)定例会報告案件

報告番号	件名
報第9号	専決処分の報告について
報第8号	公用車の交通事故に係る和解及び損害賠償の額の決定について
報第10号	平成29年度赤穂市一般会計予算の繰越しについて



●●●●● 常任委員会等審査から（主な質疑） ●●●●●

● 民生生活 6月12日に開催し、付託された第77号議案関係部分など2議案を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<市有墓地整備事業について>

- 問 墓地関係者や地権者との協議状況はどうか。
- 答 平成29年12月までに、地権者に対し国土交通省とともに交渉を行い、墓地の形状、面積等について内諾を得ている。また、平成30年1月に墓地関係者全員を対象とした事業計画説明会を開催し了承を得たが、説明会に欠席した人もいた。

<法令の規定により条例に委任された基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について>

- 問 看護小規模多機能型居宅介護のサービス内容と規制緩和の目的について。
- 答 小規模多機能型居宅介護サービスに、看護の機能が付いたもので、医療ニーズの高い要介護者等に対応することができるものである。医療が必要な人への介護ニーズが高まっており、当該介護サービス事業所を増やす目的がある。

● 建設水道 6月13日に開催し、付託された第77号議案関係部分を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<観光アクションプログラム策定事業について>

- 問 事業の内容について。
- 答 調査、分析業務が主なものである。今後の観光戦略の方向性や注力すべき施策を明確にすることを目的に、市の観光に関する興味度、認識度、満足度を調査し、分析を行う。その結果を元に、ワーキングチームにおいて新プログラムを策定する。

●問 ワーキングチームの構成員はどうか。

- 答 従前の構成員は、市担当職員及び関係団体のみであったが、今回は選定した委託業者における専門家を加えた構成とし、従前のメンバーを加えるかについては検討中である。また新プログラム策定にあたっては、市民等からの意見、提案は参考にしたい。

● 総務文教 6月14日に開催し、付託された第77号議案関係部分など4議案を慎重審査した結果、全会一致で原案通り可決すべきものとされました。

<地域創生交付金について>

- 問 地域創生交付金の内容について。
- 答 先駆的な地域活性化事業に取り組む自治体に対し国が事業費を重点配分するものである。国が原則事業費の2分の1を補助し、残り2分の1を地方が負担するものである。

<赤穂市税条例等の一部を改正する条例の制定について>

- 問 固定資産税が減額となる中小企業の対象件数と金額はどうか。
- 答 対象となる中小企業は資本金1億円以下の法人もしくは従業員1千人以下の個人事業主である。現行制度においては、件数で9件、金額で365万円を減額しているが、改正後は、概ね同件数の適用を想定しているものの、減額金額は見込めない。

● 請願の審査
(総務文教) 請願1件について慎重審査した結果、全会一致で採択すべきものとしました。

<少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について>

- 請願項目にもあるように35人以下学級とすることは必要である。
- 義務教育費の国庫負担を現行の3分の1から2分の1へ引き上げることは必要である。

● 決議の審査
(議会運営) 決議1件について慎重審査した結果、賛成多数で採択すべきものとしました。

<2025年国際博覧会の誘致に関する決議案について>

- 大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて圏域の存在感を示す絶好の機会である。
- 兵庫県の産業振興等の促進や住民の生活向上にも寄与することが期待できる。
- 大阪府民の誘致への意見が2分している。誘致先の民意を差し置くべきではない。



常任委員会行政視察報告

(ホームページにも詳しく掲載しています)

総務文教委員会 (5月21日～23日)

熊本県熊本市で熊本地震について、福岡県みやま市で人口減少問題における対策について、福岡県豊前市で廃校リニューアルについて視察を行いました。

熊本県熊本市 平成28年4月に発生した熊本地震では、従来の地域防災計画では対応することのできない問題が多数発生し、防災における課題が浮き彫りになりました。熊本市では、それらの課題に対応することができるよう、地域防災計画を新たに策定しています。

福岡県みやま市 人口減少や少子高齢化の進展に伴って起こる課題を「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で示しています。また、それぞれの課題に対応するための具体的な施策やKPIによる数値目標を設定しています。

福岡県豊前市 平成6年度の行財政改革による小学校の統廃合に伴い廃校となった小学校をもみじ学舎としてリニューアルしています。最盛期には、各教室に陶芸、染色、木工、パン、喫茶、マッサージ等の店舗が開かれ、毎日数十名の来客でにぎわっていました。



民生生活委員会 (5月23日～25日)

長崎県大村市 全国的に社会的問題となっている子どもの貧困対策として、まず実態を把握するため「子どもの生活実態調査」を行っています。その背景、アンケート項目などを教えてもらいました。赤穂市においても現状を把握し施策を具体化するためには必要な調査であると感じました。

長崎県クリーンパーク長与 隣接する自治体と処理施設を新設し広域でゴミ処理を行っています。建設場所の検討方法や最新の処理施設を視察しました。赤穂市においてもごみ処理施設の老朽化が進んでいますので、広域化等処理施設のありかたについて今後の検討課題である内容について把握できました。

長崎県長崎市 総合計画の重点プロジェクトの一つとして「長く元気で！プロジェクト」を展開しています。ノルディックウォーキング教室・健康遊具設置・ボランティアポイント制度・ラジオ体操元気応援事業などを推進することで、高齢化率は増加しているが介護を必要とせず、元気な高齢者の割合が増えてきています。高齢者の居場所づくり・生きがいづくりを中心に定年後のセカンドライフの楽しみ方など、健康寿命を意識して誰もがより健康に楽しい人生を送ることができるように様々な取り組みを行っています。行政の取り組みはもちろん、地域の人材発掘や地域力を活かした全市的な取り組みが必要であると感じました。



建設水道委員会 (7月3日～5日)

山口県周南市 中心商店街の活性化について、賑わいをテーマとして市民アンケートを実施し、市民ニーズを取り入れて徳山駅ビルに図書館を設け賑わい交流施設にしている。若者に人気のスタバ・蔦屋も参入しCCCを指定管理者として運営されている。駅に落ち着きと余裕のある空間が賑わいを生んでいる。

鹿児島県指宿市 大河ドラマ「西郷どん」の誘致は、県全体で取り組んだもの。市の観光行政予算は、全予算の3%と、観光都市として注力している。観光宣伝として、職員が交代で毎日インスタグラムをアップするなど、SNS、インターネットを活用して情報発信し誘客促進を図っている。

鹿児島県南九州市 道の駅「川辺やすらぎの郷」は鹿児島県で9番目の施設。第三セクターが運用する物産館、レストランと農産加工室がある。駐車場、案内所とトイレは、国土交通省の管理である。地元素材を活用し商品化を行っている。売上状況はほぼ毎年約3億円と黒字経営で維持されている。今後、直売所の後継者育成と高齢化農家の担い手不足に課題を感じる。





議会活動状況 (平成30年5月～7月)

5月

- 7日・大分県大分市議会行政視察 (来庁)
 - ※「赤穂市民の会」正副会長会
- 8日・総務文教・建設水道委員会合同協議会
- 9日・第46回全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会 (東京都)
- 16日・宮城県岩沼市議会行政視察 (来庁)
- 18日・兵庫県議会行政視察 (来庁)
- 21日・総務文教委員会行政視察 (熊本市、みやま市、豊前市～23日)
- 23日・民生生活委員会行政視察 (大村市、クリーンパーク長与、長崎市～25日)
- 24日・※「赤穂市民の会」正副会長会
- 30日・全国市議会議長会第94回定期総会 (東京都)
 - ※「赤穂市民の会」正副会長会

6月

- 1日・議会運営委員会
 - 会派代表者会
- 7日・議会運営委員会
- 8日・本会議[第2回定例会開会] (報告議案説明等)
- 11日・本会議 (議案質疑等)
- 12日・民生生活委員会協議会
 - ※「赤穂市民の会」理事会
- 13日・建設水道委員会協議会
- 14日・総務文教委員会
 - 総務文教委員会協議会
 - 会派代表者会
 - 議会運営委員会
- 25日・本会議 (一般質問7名)
- 26日・本会議 (一般質問2名・議案表決等) [第2回定例会開会]
 - 議会報編集委員会
- 29日・福岡県みやま市議会行政視察 (来庁)
 - 国道2号改修促進協議会総会
 - 千種川水系河川改修事業促進期成同盟総会

7月

- 3日・建設水道委員会行政視察 (周南市、指宿市、南九州市～5日)
 - 6日・建設水道委員会協議会
 - 11日・議会報編集委員会
 - 18日・熊本県山鹿市議会行政視察 (来庁)
 - 19日・鹿児島県南九州市議会行政視察 (来庁)
 - 23日・相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会
 - 全国市議会議長会第162回社会文教委員会 (東京)
 - 24日・議会報編集委員会
 - 25日・播但市議会議長会正副議長研修会 (鹿児島市～26日)
 - 27日・兵庫県市議会議長会総会 (西宮市)
 - 30日・議会運営委員会行政視察 (袋井市、蟹江町、みよし市～8月1日)
- ※赤穂市民の会＝産業廃棄物最終処分場建設反対赤穂市民の会

議員表彰の伝達

全国市議会議長会から
川本 孝明 議員に **永年勤続 (25年)**
有田 光一 議員に
正副議長 (通算4年) で表彰状

去る5月30日開催の第94回全国市議会議長会定期総会において、川本孝明議員が永年勤続議員(25年以上)として、また有田光一議員が正副議長(通算4年)として表彰されましたので、6月8日開催の本会議の冒頭に議長から表彰状の伝達を行いました。



川本孝明 議員



有田光一 議員

☆9月定例会・常任委員会の日程(案)☆

日	月	火	水	木	金	土
9/2	9/3	9/4	9/5	9/6	9/7	9/8
		本会議 (1日目)			本会議 (2日目)	
9/9	9/10	9/11	9/12	9/13	9/14	9/15
	民生 生活 委員会	建設 水道 委員会	総務 文教 委員会			
9/16	9/17	9/18	9/19	9/20	9/21	9/22
	(敬老の日)			本会議 (3日目) 一般質問	本会議 (4日目) 一般質問	
9/23	9/24	9/25	9/26	9/27	9/28	9/29
	(秋分の日)	本会議 (予備日)				

※いずれも午前9時30分から開催予定です。
※委員会は原則公開で、開会後の委員会室の出入りは休憩中を原則としています。

編集後記

- *残暑お見舞い申し上げます。毎日暑い日が続きますが、熱中症にならないように気を付けましょう。
- *今月は6月(第2回)定例会の内容を中心にお知らせしました。紙面についての皆様のご意見、ご要望等もお待ちしています。